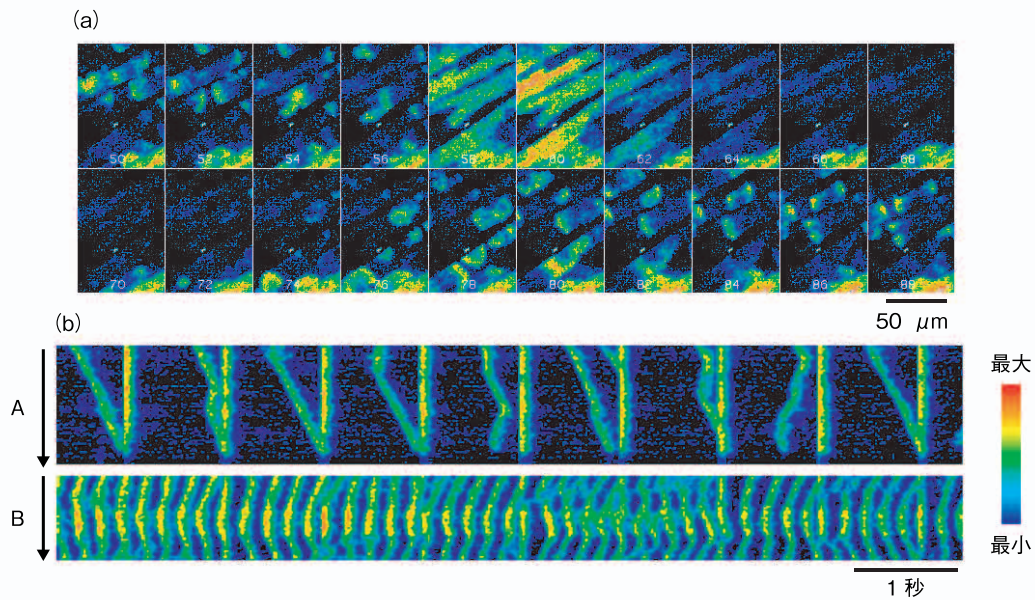


『ナノイメージ』正誤表 (1)

[口絵-2]

正 モノクロからカラーに変更しました。



(a) 67 ミリ秒ごとに測定された X-Y 像、(b) (a) の矢印 A、B における X-t 像を示す。非常に高速なカルシウム動態異常をとらえている。

出典：Acta Histochem. Cytochem, 36, 28 August 2003 @Nakanishi Printing Co., Ltd.

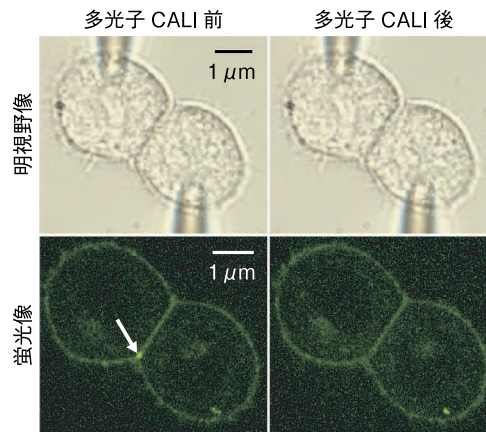
[1.1.1] 図1 Fluo3 を導入した傷害心臓の *in vivo* カルシウムイメージング³⁾ (p.11)

『ナノイメージ』正誤表(2)

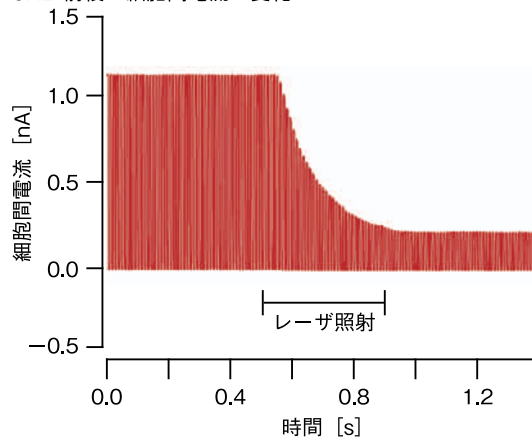
[口絵-3]

正 モノクロからカラーに変更しました。

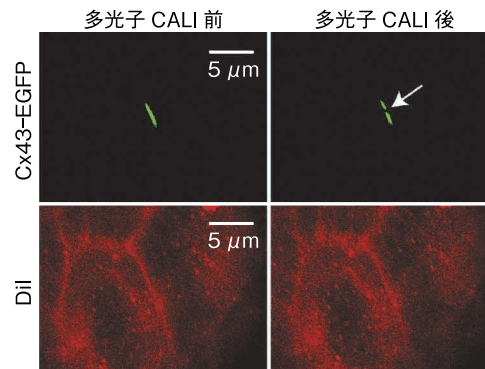
(a) Cx43-EGFP の多光子 CALI 前後の明視野像、蛍光像。矢印はギャップ結合分子のある位置を示している



(b) 多光子 CALI 前後の細胞間電流の変化



(c) 多光子 CALI 前後の Cx43-EGFP の蛍光の変化と Dil で染色した細胞膜の変化。矢印はレーザーを照射した場所



出典 : *Nature Methods*, 2, 22 June 2005 ©Mucmillan Magazines Ltd.

[1.1.1] 図4 蛍光ラベルされたギャップ結合分子 (Cx43) の多光子 CALI¹⁹⁾ (p.16)

『ナノイメージ』正誤表 (3)

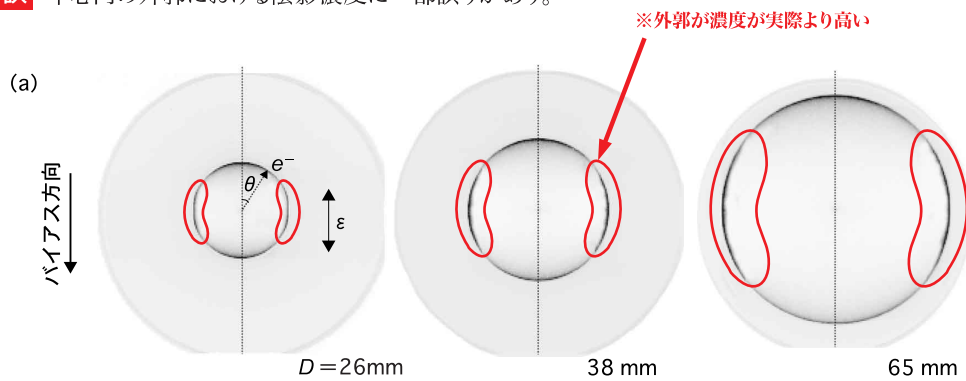
[本文17頁 上3行目]

誤 ~したがって、タンパク分子の~

正 ~したがって、タンパク分子の~

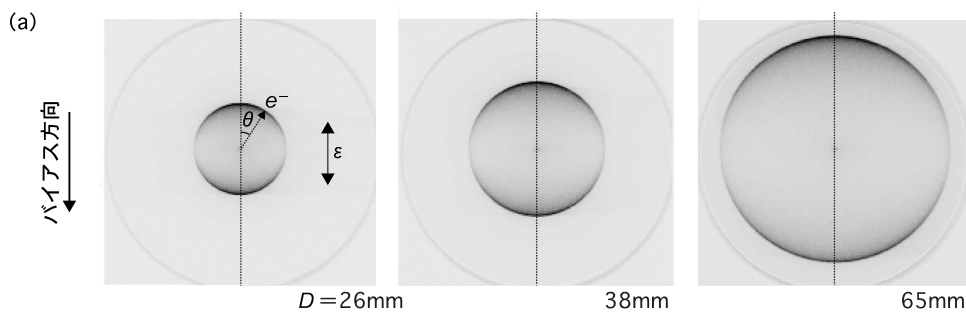
[本文327頁 図4 (a)]

誤 中心円の外部における陰影濃度に一部誤りがあり。



ポンプ光およびプローブ光の偏光ベクトル ϵ は紙面内垂直方向、また紙面上から下の方向が MCP のバイアス方向である。D は面像直径を表す。

正



ポンプ光およびプローブ光の偏光ベクトル ϵ は紙面内垂直方向、また紙面上から下の方向が MCP のバイアス方向である。D は面像直径を表す。